
シンポジウム

『建築空間における浮遊微生物サンプリング法規準』 の制定に向けて

主催：一般社団法人 日本建築学会 環境工学委員会 企画刊行運営委員会 浮遊微生物サンプリング法刊行
小委員会

日時：2012年6月26日（火）13:30～17:00

会場：建築会館3階会議室（東京都港区芝5-26-20）

近年、真菌が重要なアレルゲンとして注目されている。また、建築環境中における細菌の主な発生源はその施設を利用または使用する者自身であることが多いことから、感染制御の視点からもその挙動を把握する必要がある。海外では、2009年にWHOのヨーロッパ事務局よりWHO guideline for indoor air quality - Dampness and mouldが出され、真菌が健康へのリスクを高めることが指摘されている。日本国内においては、これまで建築分野において室内環境中の細菌、真菌に関する調査結果が多く発表されているが、測定に用いる培地、測定器のほか測定方法などが統一されていないため、測定結果間の比較が難しいのが現状である。本シンポジウムは、主にこれら建築物室内空間を対象とした浮遊微生物サンプリング法について、本学会から刊行する予定の「浮遊微生物サンプリング法規準・同解説」を基に紹介し、広く意見交換の場とするために開催するものである。

<プログラム>

司会：高塚威（新日本空調）

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. 趣旨説明 | 柳 宇（工学院大学） |
| 2. 用語定義 | 湯 懐鵬（新菱冷熱） |
| 3. 測定装置 | 長谷川兼一（秋田県立大学） |
| 4. 培養器材と培地 | 高鳥 浩介（NPO 法人カビ相談センター） |
| 5. 測定プロトコール | 石松 維世（産業医科大学） |
| 6. 測定事例紹介 | 松鶴 悟実（北九州市立大学） |
| 7. 測定事例紹介 | 金 勲（早稲田大学） |
| 8. まとめ | 山口 一（清水建設） |

参加費：会員1,500円、会員外2,000円、学生1,000円（資料代を含む、当日会場でお支払いください）

定員：シンポジウム60名（申し込み先着順）

申込方法：催し物名称、参加費種別、会員番号、氏名、勤務先・所属、電話番号、E-mailアドレスを明記の上、E-mailで建築学会事務局担当宛てにお申し込みください。

申込問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 一ノ瀬

TEL03-3456-2051 E-mail: ichinose@aij.or.jp